

浅古 弘教授・略歴

略歴

1947年11月19日	東京都品川区に生まれる
1966年 3 月	東京都立小山台高等学校卒業
1971年 3 月	早稲田大学第一法学部卒業
1973年 3 月	早稲田大学大学院法学研究科修士課程修了
1978年 3 月	早稲田大学大学院法学研究科博士後期課程単位取得満期退学
1978年 4 月	東京医科大学非常勤講師（～1993年 3 月）
1978年 4 月	明治大学法学部非常勤講師（～1995年 3 月）
1978年 9 月	早稲田大学社会科学部非常勤講師（～1992年 3 月）
1979年 4 月	早稲田大学法学部非常勤講師（～1992年 3 月）
1985年 4 月	駒沢大学法学部非常勤講師（～1990年 3 月）
1988年 4 月	早稲田大学大学院法学研究科非常勤講師（～1992年 3 月）
1988年 4 月	早稲田大学文学部非常勤講師（～1992年 3 月）
1988年 4 月	国立国会図書館調査及び立法考査局非常勤調査員（～1995年 3 月）
1989年 4 月	立教大学法学部非常勤講師（～1995年 3 月）
1992年 4 月	早稲田大学法学部専任講師（～1994年 3 月）
1994年 4 月	早稲田大学法学部助教授（～1999年 3 月）
1994年 4 月	一橋大学法学部非常勤講師（～1995年 3 月）
1995年 3 月	Harvard Law School, East Asian Legal Studies 客員研究員 （～1998年 3 月）
1997年 4 月	Harvard University, Reischauer Institute of Japanese Studies 客員研究員（～1998年 3 月）
1998年 9 月	早稲田大学法学部教務副主任（学生担当）（～2002年 9 月）
1999年 4 月	早稲田大学法学部教授（～2004年 3 月）
1999年 4 月	一橋大学大学院法学研究科非常勤講師（～2005年 3 月）
1999年 4 月	明治大学大学院法学研究科非常勤講師（～2005年 3 月）
1999年 4 月	専修大学法学部非常勤講師（～2000年 3 月）
2000年10月	東京大学法学部非常勤講師（～2002年 3 月）
2001年 7 月	早稲田大学東アジア法研究所長
2002年 2 月	早稲田大学法科大学院（仮称）開設準備委員会委員長補佐 （～2002年 8 月）
2002年 8 月	早稲田大学法科大学院（仮称）開設準備委員会副委員長 （～2004年 3 月）

2004年 4 月	早稲田大学大学院法務研究科教授
2004年 4 月	早稲田大学大学院法務研究科教務主任 (教務担当) (～2007年11月)
2004年 4 月	大宮法科大学院大学非常勤講師 (～2008年 3 月)
2007年12月	早稲田大学監査室長 (～2014年11月)
2010年 4 月	学習院大学大学院文学研究科非常勤講師 (～2012年 3 月)
2018年 3 月	国立台湾大学法律学院客座教授

学術および社会における活動等

独立行政法人国立公文書館公文書管理専門職研修会講師 (2000年～)
アジア歴史資料センター構想整理分類体系調査研究委員会委員 (2000年～2001年)
日本法令沿革索引審議会 (国立国会図書館) 委員 (2001年～2008年)
財団法人日弁連法務研究財団認証評価検討委員会委員 (2003年～2004年)
法制史学会理事 (2004年～2016年)
公益財団法人日弁連法務研究財団認証評価委員会委員 (2004年～2015年)
同認証評価委員会副委員長 (2008年～2015年)
法科大学院協会理事 (2005年～2007年)
独立行政法人大学入試センター適性試験実施方法研究会会員 (2005年～2007年)
公益財団法人日弁連法務研究財団評議員 (2006年～)
法実務技能教育教材研究開発コンソーシアム副代表 (2007年～2017年)
学校法人早稲田大阪学園 (大阪繊維学園) 監事 (2010年～2014年)
一般社団法人大学監査協会リスクマネジメント委員会座長 (2011年～2016年)
公益財団法人日弁連法務研究財団異議審査委員会委員 (2015年～)

浅古 弘教授・主要業績目録

(著書)

- (共編) 石井良助監修 赤石壽美ほか編『近代日本法律司法年表』第一法規出版(1982年)
- (共編) 杉山晴康ほか編『刑法審査修正関係諸案』早稲田大学比較法研究所(1984年)
- (共著) 牧英正ほか編『日本法制史』青林書院(1993年)
- (研究代表者)『研究成果報告書(基盤研究(B)(2))』(課題番号12420003)「岡松参太郎の学問と政策提言に関する研究」(2003年)
- (共編) 早稲田大学図書館・早稲田大学東アジア法研究所編『岡松参太郎文書目録』雄松堂書店(2008年)
- (共編) 早稲田大学図書館編『(マイクロフィルム版) 岡松参太郎文書』雄松堂書店(2008年)
- (研究代表者)『研究成果報告書(基盤研究(A))』(課題番号16203001)「東アジアにおける近代法形成と法の回廊に関する実証的研究」(2008年)
- (共編著) 浅古弘ほか編『日本法制史』青林書院(2010年)

(学術論文)

- 「明治前期における妾の身分—戸籍記載を通して」法律時報47(13)(1975年)
- 「明治四年戸籍法における届出人—石井良助教授「戸主権の成立」によせて」早稲田大学法研論集12(1975年)
- 「明治初年における娶妾資格」早稲田法学会誌26(1976年)
- 「刑法草案審査局小考」早稲田法学57(3)(1982年)
- 「明治戸籍法二題—届出と公開—(1・2)」埼玉司法書士会会報36, 37(1983年)
- 「日清修好條規に於ける観審の成立」島田正郎博士頌寿記念会編『東洋法史の探求』汲古書院(1987年)
- 「司法省裁判所私考」杉山晴康編『裁判と法の歴史的展開』敬文堂(1992年)
- 「序説・司法資料保存法制の歴史」早稲田法学69(2)(1993年)
- 「裁判記録の保存と利用—裁判史研究の立場から」アーキビスト31(1994年)
- 「司法資料の保存と公記録の管理」地方史研究44(3)(1994年)
- (分担執筆)「[学界動向] 司法資料保存利用問題」法制史研究44(1995年)
- 「裁判資料保存についての各国法制と実情 アメリカ」ジュリスト1078(1995年)
- 「記録管理の現状と法的諸問題—司法資料保存利用問題を手がかりとして」レファレンス541(1996年)
- 「アメリカにおける州裁判所記録の管理—マサチューセッツ州の事例」記録と史料8(1997年)

‘The Legal Status of Concubines in Meiji Japan’ Waseda Journal of Asian Studies (International Division, Waseda University) 19 (1998年)

「岡松家旧蔵図書文書資料整理始末」法制史研究 (中國法制史學會・台湾) 2 (2001年)

「京都裁判所の設置」林屋礼二ほか編『明治前期の法と裁判』信山社 (2003年)

「岡松参太郎の学問と政策提言—後藤新平との関係を中心に」『日本台湾学会第5回学術大会報告者論文集』大会実行委員会 (2003年)

「岡松家舊蔵圖書文獻與台湾法史」法制史研究 (中國法制史學會・台湾) 4 (2003年)

「[基礎法・特別法講義 XI—日本法制史] 裁判の歴史①-③」法学教室280, 281, 282 (2004年)

「岡松家旧蔵図書文獻與台湾法史」黄源盛主編『法史学的伝承・方法與趨向—戴炎輝先生九五冥誕紀念論文集』中國法制史学会 (2004年)

「穂積・岡松論に寄せて—石部報告へのコメント」早稲田大学比較法研究所編『日本法の国際的文脈—西欧・アジアとの連鎖—』 (2005年)

「日本法制史之変遷 (上)」司法新聲 (法務部司法官訓練所) 48 (2006年)

「海外における司法資料の保存と利用—アメリカ合衆国の場合」アーカイブズ29 (2007年)

「岡松参太郎與台湾法」『台日学術交流国際会議論文集 (殖民化與近代化—檢視日治時代的台湾)』亜東関係協会 (2007年)

「法曹の継続法学教育と法曹養成制度改革—早稲田大学法務教育研究センターの試み」法律時報80 (4) (2008年)

「豊かな法曹になるために ④日本法制史」法学教室345 (2009年)

「歴史分析と法：日治時代の台湾法院記録史料」王泰升主編『跨界的日治法院檔案研究』元照出版公司 (2009年)

「日本における近代的土地所有観念」早稲田大学大学院法学研究科編『法学研究の基礎所有』成文堂 (2010年)

「文書管理とアーカイブズ：早稲田大学の現状と未来」早稲田大学史紀要43 (2012年)

「慣習と法：台湾旧慣調査と日本法との交錯」『法律與歴史的交匯：「台湾法律史二十年」國際學術研討會論文集 (二)』中央研究院法律学研究所 (2017年)

「私立大学に於ける情報公開と文書管理」早稲田大学史紀要49 (2018年)

(講演・口頭発表等)

1 国内

「明治四年戸籍法における願届人について」法制史学会第66回東京部会 (1975年5月10日) 如水会館

「明治一五年刑法の編纂と刑法草案審査局」法制史学会第34回總會 (1982年4月6日) 東京青山会館

「京都裁判所の設置をめぐる」〔共通課題 裁判史をめぐる諸問題〕法制史学会第33回

- 研究大会（1985年10月13日）同志社大学
- 「日清修好條規における観審の成立」法制史学会第126回東京部会（1987年5月16日）専修大学
- 「官報創刊以前の法令公示の方法—明治初年の法令の調べ方」法律図書館連絡協議会研究大会（1989年12月15日）国立国会図書館
- 「司法省裁判所について」〔共同報告「司法省裁判所民事判決原本について」〕法制史学会第42回総会（1990年4月14日）青山学院大学
- 「第十八回全国歴史資料保存利用機関連絡協議会（全史料協）全国大会報告—裁判記録の保存運動に関連して—」法制史学会第159回東京部会（1992年11月21日）早稲田大学
- 「序説・司法資料保存法制の歴史」〔共同報告 司法資料保存の歴史と現代的課題〕法制史学会第45回総会（1993年5月1日）駒澤大学
- 「記録史料法の諸原則—国際文書館評議会法律問題委員会の報告」第1回「法と裁判」近代化研究会（1999年6月12日）本郷・第3三好ビル会議室
- 「国立公文書館法の成立と司法資料」中部司法史料研究会（1999年11月13日）中京大学
- 「岡松家旧蔵文書資料について」第1回岡松文書研究会（2000年6月1日）早稲田大学
- 「（パネルディスカッション）公文書館における公開をめぐる諸問題—解決への方策—」第8回公文書館実務担当者研究会議（2001年2月7日）国立公文書館
- 「公文書館の閲覧制度と個人情報保護」神奈川県立公文書館（2002年3月20日）神奈川県立公文書館
- 「岡松家旧蔵文書資料の整理作業の問題点」第4回岡松文書研究会（2002年7月13日）早稲田大学
- 「（ミニ・シンポジウム）岡松参太郎の学問と政策提言：概要報告」法制史学会第55回総会（2003年4月27日）早稲田大学
- 「岡松参太郎の学問と政策提言—後藤新平との関係を中心に—」日本台湾学会第5回学術大会セッション「法学博士・岡松参太郎と台湾総督府の立法政策」（2003年6月14日）関西大学
- 「法科大学院教育の現状と課題—IT環境の将来」司法制度改革と先端テクノロジー研究会（2005年7月16日）富士通総研
- 「（パネルディスカッション）法科大学院の認証評価のあり方—成績評価・修了認定を中心に」（財）日弁連法務研究財団「法科大学院認証評価シンポジウム—第1回認証評価の報告と今後の課題」（2007年3月26日）日本青年館
- 「事例報告：早稲田大学の場合」法科大学院協会「法科大学院における成績評価と修了認定」（2007年6月9日）中央大学
- 「（パネルディスカッション）法科大学院における法学未修者教育の在り方 川村正幸・白取祐司・四ッ谷有喜・浅古弘」文部科学省・（財）文教協会「専門職大学院等教育推進プログラム法科大学院分科会」（2008年02月9日）パシフィコ横浜

- 「グローバル・スタンダードとしての記録管理法制」日本アーカイブズ学会研究集会
「記録アーカイブズ法制の一層の整備に向けて」(2008年3月1日)学習院大学
- 「早稲田大学における文書管理の将来像」早稲田大学大学史資料センター創立10周年記念講演会「私立大学アーカイブズの未来—学内文書移管を中心に」(2008年12月3日)
早稲田大学
- 「司法官訓練所所蔵の刑事裁判記録について」第1回「帝国と植民地法制」研究会(2009年6月6日)早稲田大学
- 「東アジアに於ける記録管理法の比較—韓国・中国・台湾」第3回「帝国と植民地法制」研究会(2010年7月10日)早稲田大学
- 「諸外国における司法記録の保存と公開」日本弁護士連合会司法制度調査会行政公法部会(2012年7月4日)弁護士会館
- 「日本における司法記録の保存と公開」日本弁護士連合会司法制度調査会行政公法部会(2012年9月3日)弁護士会館
- 「リスクマネジメントに基づく大学経営のあり方」大学監査協会監査実務研究会議(2013年7月22日)東京理科大学森戸記念館
- 「学校法人早稲田大学における内部監査への取組み」第21回学校法人内部監査研究会(日本内部監査協会)(2014年3月10日)
- 「日本統治下の独立運動と治安維持法の適用:台湾と朝鮮の比較を中心として」第8回「帝国と植民地法制」研究会(2014年12月6日)早稲田大学
- 『『公的研究費の管理・監査に関するガイドライン』への大学の対応』大学監査協会内部監査研究会議(2015年3月5日)東京理科大学森戸記念館
- 「[研究ノート]朝鮮総督府法院裁判の終焉時期について」第13回「帝国と植民地法制」研究会(2016年12月17日)早稲田大学
- 「私立大学における情報公開と文書管理」第3回早稲田大学大学史セミナー(2017年1月27日)早稲田大学
- 「慣習と法:台湾旧慣調査と日本法との交錯」第15回「帝国と植民地法制」研究会(2017年10月14日)早稲田大学

2 海外

- ‘Voluntary Surrender and Confession in the Criminal Procedures in Modern Japan: Legacy of Tang Code and its Ramifications’ (Session199: Philosophy, Law, and Social Reality: Ancient Chinese Values in Contemporary Japanese Law,) 1999 Annual Meeting of AAS (1999年3月14日) Boston Marriott Copley Place
- 「日本の司法制度:歴史と現代的課題」法務部司法官訓練所特別講義(2006年3月13日)
台湾・法務部司法官訓練所
- 「日本における法科大学院制度の経験と課題」Pusan National University Symposium: Review on the Korean “Draft Law School Authorization Standards”: From the

- Comparatives of Legal Educations in Korea, U. S. and Japan (2006年 3 月17日) 釜山国立大学
- ‘Judges’ Training under the New Legal Education in Japan.’ Institute of Judicial Training and Research, Taiwan; International Symposium: Judicial Training and Ethic Education (2006年10月24日) 台湾・法務部司法官訓練所
- 「日本における新法科大学院の経験と課題」(2006年12月15日) 全南国立大学校
- ‘The Trends of the New Legal Education in the East Asia’ Harvard Law School, EALS Workshop (2007年 2 月12日) Harvard Law School
- 「岡松参太郎與台湾法」2007年台日學術交流国際会議(2007年 9 月 8 日) 国家図書館
- 「歴史分析と法：日治時代の台湾法院記録史料」日治法院檔案與跨界的法律史研究国際研討会(2009年 3 月21日) 国立台湾大学図書館
- 「日本統治下独立運動與治安維持法之適用：以台湾和朝鮮的比較為中心」国立台湾大学法律学院法律與社会研究中心2014年国際學術研討会(2014年 2 月27日) 国立台湾大学
- 「日本法制史：日本法における天皇の地位」国立台湾大学法律学院特別講義(2015年 3 月18日) 国立台湾大学
- 「慣習と法：台湾旧慣調査と日本法との交錯」台湾法律史二十年国際學術研討会：法律與歴史的交匯(2017年12月 1 日) 中央研究院

(書評)

- 井ヶ田良治ほか編『日本法史年表』(日本評論社) 法制史研究32(1982年)
- 山中永之佑著「農商務省の創設と勸業法制—その治安対策的意義について—」(『日本近代国家の法構造』木鐸社) 法制史研究34(1984年)
- 中山勝著「明治初年の県刑法—日光県・摂津県の場合」(『近代日本史の新研究 3』北樹出版) 法制史研究35(1985年)
- 山中永之佑著『日本近代国家の形成と「家」制度』(日本評論社) 比較家族史研究 4(1989年)
- 瀧川叡一著「東京開市場裁判所の設置とその判決例」(亜細亜法学23(2)) 法制史研究 40(1990年)
- 霞信彦著『明治初期刑事法の基礎的研究』(慶応義塾大学法学会) 法学研究(慶大) 64(7)(1991年)
- 中山勝著『明治初期刑事法の研究』(慶応通信) 法制史研究42(1992年)
- 新井勉著「明治一六年参事院の刑法論小考—明治政府の憲法構想と刑法秩序の不整合序説」(日本法学63(1)) 法制史研究48(1999年)
- 安竹貴彦著「「大坂代官所」から「司農局」へ(1・2)—幕末から明治初年における大坂代官所役人たちの動向を中心に」(法学雑誌(大阪市立大) 50(1)(3)) 法制史研究55(2006年)
- 西英昭著「土地をめぐる「旧慣」と『台湾私法』の関係について(1, 2, 3)—「不動

- 産権」部分のテキスト分析を手がかりとして」(法学協会雑誌122 (7, 8, 9)) 法制史研究56 (2007年)
- 牛尾洋也ほか著『近代日本における社会変動と法』(晃洋書房) 法制史研究58 (2009年)
- 三阪佳弘著『近代日本の司法省と裁判官—19世紀日仏比較の視点から』(大阪大学出版会) 法制史研究66 (2017年)

(その他)

- (執筆項目)「議院法」青木和夫ほか編『日本史大事典』平凡社 (1993年)
- (執筆項目)「家制度・勘当・嫡母庶子関係・長子相続」市川昭午ほか監修『子どもの人権大辞典』エムティ出版 (1997年)
- 「最高裁判所図書館明治文庫所蔵本解題 I~XXI」(1998年~2018年)
- 「岡松家旧蔵図書・文書資料について」ふみくら (早稲田大学図書館) 63 (1999年)
- 「早稲田大学の構想と展開 (特集 法曹養成制度と大学教育)」法律のひろば 1 (2000年)
- 『法科大学院』設置構想の展開 早稲田学報54 (4) (2000年)
- 「岡松家旧蔵図書・文書資料のこと」書斎の窓505 (2001年)
- 「法学教育とロースクール」『司法改革とロースクール』国士館大学法学部比較法制研究所 (2001年)
- 「(インタビュー) 早稲田大学のロースクール」日経社会人のための大学・大学院ガイド 2002年春号 (2002年)
- 「『横浜事件』再審請求事件鑑定意見書」(2002年) (横浜事件・再審裁判=記録/資料刊行会編『全記録横浜事件・再審裁判』高文研 (2011年) 所収)
- 「(資料) 国際文書館評議会法律問題委員会最終報告書: 記録史料および現用記録に関する立法の諸原則」比較法学 (早稲田大学比較法研究所) 36 (1) (2003年)
- 「(座談会) 法科大学院への招待 落合誠一, 浅古弘, 大村雅彦ほか」法学教室270 (2003年)
- 「(座談会) 法科大学院における法情報検索教育をめぐって 町村泰貴, 浅古弘, 藤田康幸ほか」法律時報75 (3) (2003年)
- 「法科大学院の設置から新入生を迎えるまで—早稲田大学の経験」Forum (大学入試センター) 27 (2004年)
- 「法曹養成システム改革の背景と法科大学院構想」びぶろす (電子版)/国立国会図書館 23 (2004年)
- 「(インタビュー) 法科大学院探訪 (13) 早稲田大学法科大学院—「多様性」の存在感 浦川道太郎教授, 浅古弘教授に聞く」法学セミナー50 (4) (2005年)
- 「法科大学院のための認証評価—早稲田大学の経験から」自由と正義56 (7) (2005年)
- 「有斐閣の名著再発見〔続〕和田小次郎著『近代自然法学の発展』」書斎の窓547 (2005

年)

「日本早稲田大学大学院法務研究科浅古弘教授訪談紀実 浅古弘・林俊言・蘇逸修」司法新聲（法務部司法官訓練所）48（2006年）

「裁判を国民の身近なものへー裁判員裁判が始まる」早稲田学報1162（2007年）

「官制沿革表」国立国会図書館 http://dajokan.ndl.go.jp/SearchSys/enkaku_top.pl（2007年）

「(座談会) インターネットによる法令情報の発信—太政官布告から現代法まで—浅古弘・岩谷十郎・高橋良彰」国立国会図書館月報568（2008年）

「(パネルディスカッション) 法科大学院における法学未修者教育の在り方 川村正幸・白取祐司・四ッ谷有喜・浅古弘」『平成19年度大学教育改革支援プログラム合同フォーラム記録集』文教協会（2008年）

(執筆項目)「天野御民・井上正一・井上操・岡山謙吉・北畠治房・控訴院・小山松吉・司法省裁判所・地方裁判所・平田譲衛・府県裁判所」宮地正人ほか編『明治時代史大辞典 1・2・3』吉川弘文館（2011・2012・2013年）

「嵐の中の学生オーケストラ」『早稲田大学交響楽団100年史』早稲田大学交響楽団（2013年）

(研究代表者)「千種達夫文書目録」早稲田大学東アジア法研究所 <http://www.waseda-eals.com/database.html>（2013年）

(研究代表)「宮内季子文書目録」早稲田大学東アジア法研究所 <http://www.waseda-eals.com/database.html>（2014年）

「杉山晴康先生を偲ぶ」法制史研究66（2017年）